

(様式 1)

2023年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：税法Ⅲ	
担当教員名：金子輝雄	
授業科目概要： 租税法は他の法律と比べて非常に専門的・実践的性格が強いものとなっている。それゆえ、実務経験のない者が学修する場合には、ある程度の税務実践を知っておくことが求められる。本講義では、そのことを念頭に、税法と財政、租税法の基本原則、税務行政、税務プロフェッション等、税法に係る基礎知識を修得し、次に租税実体法の概要、特に法人税法、消費税法、所得税法を概略的に学修する。また、国際税法も関連でみていく。最後に、租税関連手続きを学ぶ。初学者は実体法の修得に目を奪われがちであるが、納税者の権利を擁護し、健全な納税慣行を維持するためには、国税通則法、国税徴収法、租税救済法、租税制裁法等のいわゆる税務行政手続法分野の学修も不可欠である。	
履修上の留意事項： 研究論文の作成を見据えた学修が望まれる。教科書は受講者の要望に配慮して適宜変更していきたい。以下の指定教科書と講義内容はあくまでも予定であり、ある程度研究テーマを絞り込んでいる人のために、テーマに即したより専門的な文献に変更するなど、柔軟に対応する予定である。	
教科書・参考書（参考文献）～予定～	
書名：『現代税法入門塾』 著者／编者：石村耕治編 出版社：清文社 出版年：最新版	書名： 著者／编者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／编者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／编者： 出版社： 出版年：
書名： 著者／编者： 出版社： 出版年：	書名： 著者／编者： 出版社： 出版年：
評価方法及び判定基準： 出席状況、質疑応答の頻度、理解の程度等を総合的に勘案して決定する。	
授業目標及び進め方： 回毎に取り上げられるテーマについて、指定した教科書の部分を精読し、レジュメとしてこれをまとめ、発表してもらおう。教師と受講生が議論を重ね理解を深めていく。	

(様式 1)

第1回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：税法をどのように学べばよいか 教科書／参考書 1. 1
第2回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：税金・財政・金融・納税者 教科書／参考書 1. 2
第3回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：課税庁の仕組みと役割 教科書／参考書 1. 3
第4回	テーマ：税法の基礎知識 内 容：納税義務者・租税基本原則・税務専門職 教科書／参考書 1. 4～1. 6
第5回	テーマ：租税実体法 内 容：法人税法 教科書／参考書 2. 1
第6回	テーマ：租税実体法 内 容：消費税法 教科書／参考書 2. 2
第7回	テーマ：租税実体法 内 容：相続贈与税法 教科書／参考書 2. 3
第8回	テーマ：租税実体法 内 容：所得税法と各種所得の計算 教科書／参考書 3. 1、3. 2
第9回	テーマ：租税実体法 内 容：所得控除と税額控除 教科書／参考書 3. 3、3. 4
第10回	テーマ：租税実体法 内 容：その他の国税と地方税法 教科書／参考書 2. 4, 2. 5
第11回	テーマ：租税実体法 内 容：国際税法 教科書／参考書 4. 1
第12回	テーマ：租税手続法 内 容：租税確定手続 教科書／参考書 5. 1～5. 3
第13回	テーマ：租税手続法 内 容：滞納処分と強制徴収 教科書／参考書 5. 4
第14回	テーマ：租税手続法 内 容：租税救済法と租税制裁法 教科書／参考書 6, 7
第15回	テーマ：租税手続法 内 容：税金や財政の諸問題 教科書／参考書 9